

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キラナ		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用して頂いているお子様一人ひとりの特性に応じた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ●アセスメント等に基づき、一人ひとりの特性や発達段階に応じて細やかな支援・配慮を実施している。 ●活動プログラム(支援内容)が固定化しないよう、会議等での振り返り、また、お子様からもやりたい事など聞き取りを行うなどし、必要なスキルが提供できるよう検討、立案している。 	支援後の振り返りを通して、お子さまに必要な支援の検討を行い、支援内容の充実を図る。
2	保護者様との連携・情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者様からの相談に対し、寄り添い迅速かつ丁寧な対応を行っている。 ●活動や支援内容を送迎時、LINE等で具体的に報告するとともに、活動日程表を作成配布することで、活動内容の共有を行っている。 	今後も引き続き、定期的な発信を行い、情報共有を充実させていく。また、保護者様のさらなる理解につなげていく。
3	職員のチーム支援と安全体制	<ul style="list-style-type: none"> ●朝会や会議で情報共有を行い、職員間の連携を図っている。 ●PDCAサイクル(目標設定と振り返り)を活用し、業務改善に継続的に取り組んでいる。 ●ヒヤリハット・インシデントの共有を行い、安全管理の徹底に努めている。 	情報共有、業務改善、安全管理の仕組みを強化し、更に質の高い支援体制の構築に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所として現在取り組んでいる支援内容についての外部への発信が十分ではない。	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の活動や支援の工夫、子どもたちの成長の様子などは保護者には伝えているものの、地域や関係機関、これから利用を検討している家庭に対しては十分に伝えられていない状況がある。 	今後はホームページやSNS、事業所だより等の活用、地域への情報提供などを通して、当事業所の支援内容や特色、活動の様子を積極的に発信していく体制づくりを進めていく必要がある。
2			
3			